みな金色の夜叉なのだ

また世のためにその金を せつせと働きたくわえて

金にはしつた質一も

恋にやぶれた腹いせに

おもいおこしてごろうじろ 金色夜叉のお話を そこで皆さまおなじみの 夜叉とは鬼という意味だ

> それがそのまま金色の 得意になっている人は

これみよがしにかざりたて わきから世話はおことわり

拝金主義の人間は 美人だミスだといわれても

> ぜいたくしようが出すまい おれのお金はおれのもの山ほど金庫につみかさね

金色夜叉の同類だ

の紳士でも

 Θ

或はうそでごまかして

完 納

を

誇

IJ

1=

今

年

Ъ

精

を

出

با

町

県

民

税

第

期

0

納

期

B

は

六

月

Ξ

+

H

て

す

常に心がけまし

の予定で開かれた。

みんな協力すれば出来るもの

無慈悲な手段で蓄財し

〇内心如夜 ツの外面如菩薩

情も涙もあらばこそ

修行の一つであるそうな その甘辛のあんばいが 生かして使って行くという 土台をきずくはよいけれど 日毎のしごとに精を出し おにの仲間というものだ

大事な人生学校の

金色夜叉は貫一と しかし世間をみわたすと で感謝されている大字貝田の 校講堂の暗幕其の他を寄附し この美談の主は、前にも同

くり、松浦喜一郎氏を委員長

° y °

そこで水道設置委員会をつ

た。

び水となつて、りつばに解決 することになった。

一六十米掘れば多量の湧水ある 生に交渉、三月下旬に三日間 長八島福太郎氏らは直ちに先

にわたり、綿密な調査の結果

ことがわかつた。

の電探費寄附という美挙が呼 ころが、このたび、町内有志 同の悩みのたねであつた。と 当局はもちろん、地域住民一 たほど深刻な問題で、歴代の しば新聞だねにとりあげられ

大木戸校の飲料水は、

しば

|水源調査をするようにと、

沼

氏

0

呼

Ç

水

効

を

奏

喜んだ当時の校長佐藤勝弥氏 の経費一切の寄附を申出た。

(現大森小学校長) PTA会

源の話が出、福島大学三本杉児の卒業式に参列した際、水

山鉄工業所の手で大規模なボーの予算をもつて、二本松市で負金を組織し、早速三十万 会に大木戸小中学校水道建設として町当局を動かし、町職

。。。。。 議会だよ

色

夜

叉

0

う

П た

佑

日程第一

変更の件

大沼忠四郎氏で、去る三月愛

【第21号】 昭和34年6月15日発行

国具町公民館 佐藤 善次郎 鈴木 美一 宇佐美印刷所 道路の都合で、道路開通後に尚、本格的工事完了は弾丸

農

繁期

の防

犯

に御協力を!

警

察

署

(2)、正しい横断

なる筈である 毋子衛生で 民

報

賞

発行所 発行人 編集人 印刷所

> 巣盗難事件や、押売りの被 になりますと、 日御苦労さまです。 いよいよ農繁期となり、 農家の皆さん!

押売、 毎年、あ、 豊繁期

時は、隣近所が協力し◎ことわつても行かない

すぐ警察へ連絡し

りことわりましよう。 たりしないで、きつぱ

し、水量検査の結果一昼夜三六十層に達するや見事に湧水 科学の力はおそろしく的中し ーリングにとりかからせた。 す

で、四十万円のポンプや配管たので、去る六日の定例議会 工事費が議決され、本月末に 百石の水が出ることがわかつ は給水を開始することになつ し、積極的に母子衛生に尽力民報社主催のママの講座を通 念品が贈られた。 より写真のような表彰状と記

【写真】は表彰状と記念品

れ、会期一日、議案次の通に、会期一日、議案次の通 六月定例町議会 六月六日国見町 日程第二 額のための変更である。 の町税と実施計画中の起おいて三十七年度以降分 十八年度実施計画中の公ことと、これに伴い、三 債の過大計画を更正する 延べと他事業費の若干減 営住宅建設の翌年度に繰

財政計画中の歳入計画に知事の調整意見によつて 国見町建設計画 更正である。 木費より流用等について 木費より流用等について 大木戸小中校簡易水道工 国見町歳入歳出更正予算1程第二 昭和三十四年度

○器具の点検

の公示

※実施中

こんどは れば出来る

かも猫の手も借りたい農繁期 て馬力をかけた結果、時あた 中学校や公民館の応援をうけ そ町の名挙にかけてもと、小 の成績をとつて面目玉をつぶ した本町選管委では、今度こ 会選挙と続げざまに管内最低 昨年の衆議院から今春の県 平均

、っっず、左表のように、管しかも朝からの惡天候にもかかも猪のヨット 上まわる成績を収め、やはり内第二位、県平均をはるかにかわらず、左表のように、管 大森大小藤 平木江 均戸野枝坂田 男 女 Ħ

あかった投票率 だと感心している。 男 女

月憲桑保梁国伊 町 舘山折原川見達名 大当当場 上、花窗三花光 たっこ 交当 写通) 海滨 ○原液には絶対触れない様に

○出来るだけ皮膚の露出面を なくすこと すること

安全運動が行われますので、十日間、全国一せいに、交通六月十一日から二十日まで 事故で失われました。 なるよう、

あ ડેં お気をつけてく な い 11 桑 折 たさ

松

察

Y

で三十六人の尊い生命が交通 け、歩く方の交通安全は、歩二十日までの間に、福島県内 したいと思います。 H、歩く方の交通安全は、歩したいと思います。 しく歩くことがならわしにによつてたもたれます。正 く方自身が正しく歩くこと

今年も又大量に使用する時期 となりました。効き目の高い 防

協力して下さい。 注 意.... ○実施三日前に届 ※実施前には 出を必ず行うこ ٤

○実施日時、区域 ※実施後 ٤ 保管すること

使用して下さい。 ○撒布後七日は立入らない様 ○器具は良く洗うこと ○体を良く石けんで洗うこと に又家畜も近寄せないこと

仝 六月、九日(火)大木戸小中程は次の通りです。 たが、当町内の学校訪問の日 十九日(金) 県北中

仝二十七日(土)藤田小 仝二十三日(火)森江野小 豆、馬鈴薯)増収競技会が一本年も『国見町(水稲、大 開催されます〃 ことしの王座は誰? はきょ下さい。 詳しくは部落の推進員に ろこばれてきたが、今 地域社会から非常によ 民)では一昨年から農民館(分館長村上豊一 繁季節保育所を開き、 **查江野地区徳江南部公** 末日まで、二十六日間 年も去る五日から本月

有機燐製剤による危害を 止 i ましよう 11

大きいものですから充分注意有機燐製剤は人体にも危険が して危害のない様にみんなで 〇作業中気分が悪くなつたら ○長時間連続作業を行わない こと 直ちに医師の診断を受ける体む様に又激しく悪い時は

> からあがつていただくよう すめないで、運転がすんで 車運転をする人には酒をす

県教委の

○残品はは必ず所定の場所に ○空びんは地中深く埋めるこ

になつております。今年も第 研究の相談に応じられること 営の状況をみたり、先生方の て、それぞれの学校の施設経 生力が、管内の学校を訪問し 所の所長さんや指導主事の先 県教育委員会事務局伊達出張 回目の訪問を始められまし 学校訪

世話をしている。 【写真】は 元 しよう

さんは毎日汗だくでチ 名に近く、四人の保母 チーパッパや給食の (下) まきも届けま

徳江 南部 季節保育 所 開 <

尙本年の入所者は五十

御注意、御協力下さるよう ました。皆さんの御家庭で して、農繁期防犯特別警戒では、各防犯協力会と協力 も、次のことについてぜひ 一掃につとめることになり を実施して、事件や事故の 害が多く発生します。警察 ◎押売りが来たら、品物 ◎仕事に出かけるときは 押売りは部落の協力で 戸じまりを完全にしま 何、少年の補導 診断を励行しましよう。 締りや火の元の防犯防火 ねる前、家族みんなで戸 止につとめましよう。 ばつて、少年の不良化防 お子さん方によく気をく どんなにいそがしくとも ましよう 事故を出さないようにし いては、規則を守つて、います。農薬取扱いにつ 農薬による事故がふえて 夜の防犯防火診断 農薬事故の防止 よう。 (1)、道路上で、 50 どのあそびはやめましよ、道路上で、まりなげな 道路での遊戯をやめまし は危険です。

お願いします。

あき巣の予防

(=)

しよう。

を見たり、

値段をきい

(3)

(1)、あぶない自転車の二)、自転車の正しい乗り方 いで、たてに一列に。 るときは、横にならばな の、二台以上いつしよに走 す。 (1)、あぶない自転車の二人がありまでけがをした人がありまでけがをした人がありま り歩きもたいへん危険で、小さい子供さんのひと

おくこと

の栄養上望ましい

四、運転手さんには酒をすす 不人情のようですが、自動 事故のもとです。はなはだ よつばらい運転は、大きな めないようにしましよう。 夜は必ずあかりをつけ 尚その日の行は 七月十 九月 にならうこと

学校経営について学校長 四日(金)大枝小中十一日(土)小坂小

4、職員との話しあい
2、諸帳簿の指導
との話しあい

(3)、蚊やはえを駆除し、 羊マヒを予防するため クレゾール石けん液五 をぬつておく リーフ(硫酸ニコチン

通を守りましよう。 人は右、車は左の対面交(1)、対面交通 もなると、家畜は飼料ばか 猫の手もかりたい農繁期と 農事 ×

横断歩道を横ぎり、その横断歩道を横ぎり、その横断歩道を横ぎり、その横断歩道を横ぎり、その横断歩道を横がり、その横断歩道を横断歩道を横断歩道を横がった。 ましよう。ななめに行くてからまつすぐに横ぎりく見て、安全をたしかめないところは、左右をよないところは、左右をよ ことはおろそかになり、せり与えられて、衛生管理の くなります。それで梅雨季 力を発揮することができな 病気になつたり、又十分能 から夏にかけて、最低限度 つかく飼育してきた家畜が (1)

次のことを実行してくださ (1)、食塩を与えることをつ、乳牛和牛 忘れないこと にわとり

3、とまり木にプラック 五○○倍で消毒をする (2)、クレゾール石けん液 (1)、常に雞舎を清潔にす ること るため掃除をする

(1)、畜舎を常に乾燥して)、緬山羊 (2)、夏といえども若干の (2)、飼科の面では廿の牛 干草を与えることは牛 ため、次のことを実行すしくも」の駆除予防をするを顕率を低下させる「わ (3、魚類の生ものはさけ (2)、残飯や野菜くずなど 作つてやること作つてやることを、これである。葉や尿溜を どまざらないように注いたばこの吸いがらな 必ず煮てやること を与えるようにする 意すること もなるべく新鮮なもの

七 豚 豚舎の内外を清潔に

○○倍で消毒を行うこ

青年学級

斉に

開

かっ

n

3

円満なる人格の形成に努力

ò

◎子 ど Ъ を 交 通 事 故 ع 水 難 か 6 守 IJ ま 般的教養につとめ、 L ょ

青年の自主的学習など運営方針きまる

も別表のように 始された。 学級は、ことし られ、一斉に開 かれてきた青年 設として毎年開 数次の指導者 青年の教養施 藤 小 名 すめると共に、青年団と表

一体性確保のため、今春出来性を更に伸ばすと共に、全町 きた青年の自主 でつちかわれて されま 大枝 田 坂

大木戸青年学級 森江野青年学級 裹一体的な運営をする。 青年学級 青年学級 青年学級 渡高牧 後 石 青 主 辺橋野 藤 幡 华 伊伊武知郎 藤夫 久 事 保 剛 知 学 識技能を習得すると共 生徒数 四五四〇五〇 七三 六五 級 佐 半 佐 矢岩 若藤 沢 野 部城 林洋 武 安重 清一博 光 男夫 一 生

覧

表

徒

代

当

木

征 摀

子

3、職業、家庭生活に必要な

実習、視聴覚利用、読書、なく、講義、討義、実験、なく、講義、討義、実験、 記録等多面的な方法を工夫

する。

みましよう。

(=)

しよう。

(=) 眼と 「若い世代へ」 世界の旅人

金木水 生活のヒント物語人物史 私のすすめたい本 あすへの科学

につけることが出来ます。 広くなり、ゆたかな教養を身 つの集団に入ることによつ でてくる。したがつて、 更に放送を利用すると、 自分のすぐれた能力を · 指 も会で、

朙

立

経費がたりないとか、勤労青 が、適当な講師がないとか、決することを望まれています

年の心理と能力、疲労度を十

公

1、各地区の学習活動を中心

運営の方針

异

め生徒会の活潑な活動をす 体的運営をはかる。 習と部落学習を加味し、 とし、これに全町一体的学

生徒の自主性をのばすた

分考えて、しかも学習意欲を

高めるような魅力のある内容

子ども会とは、子ども会 二子ども会の 意義、日

月的

プを手段とし

たがいい

教育の課程によつて、そのレクリエーション等、自由て、そこで行われる遊戯、

る。

これは、

人間としての本

を得るようになるもの。

力を伸ばし、人格を発展さ

民 舘

うも格別である。

で、講師や生徒のはりきりよ としは、管内の青年学級研究 るものと期待される。特にこ をきめられ、農繁期あけと共

かということです。青年学級 選択と学習の内容をどうする

習によつて、身近な問題を解 では、話し合いによる共同学

てくれます。ラジオは、広い足してゆたかな材料を提供し

用すると、こうした欠陥を充 す。ところがラジオ放送を利

ことによつて、視野がとても 出来、従つてこれを利用する田舎へでも呼んで来ることが

かなかうまくいかないもので

と方法をと考えてくると、なを、気軽に、手軽に、どんな

視野と教養を身につけた講師

集会の会場にも当つているの

に一番大切なことは、講師の 青年学級の学習を進める上

に活潑な学習活動が展開され

同学習など、

本年の運営方針

た青年研修所を中心とした共

わ

n

らはこうし

て学習する

(-)

佐藤 渡辺 ハル子 佐久間 隆子 佐藤 ミイ子 鈴

光枝

1110,11110

三四、二二〇

金木水火月

工場常識

五六、〇四〇 三八、八〇〇 三七、七二〇 配

ある行動をとる必要をさと 示そうと努力すると共に、 集団のきまり(秩序)にし 集団全体と調和の 自分の校外生活を自主的子どもにあり、子どもが 会生活、民主生活の体験 動の主体は大人にある。 るもので、その中から、社 中心に永続的な運営をす に、共通の目的や興味を 活動の主体が主として いずれもその活

5

聞く訓練が出来ると共に 話し方について考えさせ

(=)の活動の主体は、子ども のであつて、 に運営されるも · そ

るためには、各部落にグルー を町内の隅々まで徹底普及す をすすめて来たが、更にこれって生活改善についての研究一三、 十五名の会員が、毎月一回集

四

参加者 部落婦人会長の て移動することあり。を置き、研究内容によつ

推せんにより、各部落よ

◎第一回講座お知らせ

時日

各部落から代表者を集め

は、孤独では 生きていけ

ずく。したがつて、子どもも 生活は人間の自然性にもと

えんである。

三子ども会の

の方法として考えられるゆ や青年会が社会教育の一つ ある。

すべて人類

子どもの社会を育てましよう」 子ども会育成の手びき

発展させようとする活動で せると共に、その会自体を 会に参加している個人の能

る過程であつて、 性にもとずき、良き社会人

子ども会

(会長高橋サタミさん)

(会長髙橋サタミさん) では国見町生活改善推進委員会

としての資格をつくりあげ

る。 の自治活動をそのまま校 もいうべきもので、学校 を含めた地域の大人であ 学校児童会(生徒会)と ブを作る必要があるというの

外にうつしたもので、 開店休業になりがちであ織は整然としているが、 (厚生課) 組 研修としての事業が合流され定期講座と青年研修所の長期 なつた。尙これには公民館の と思う。要項次の通り。 て生活改善講座を開くことに その成果は期待されてよい

永年の経験をもつW先生は 放送 利用

の効果として

発表力が向上した。

1、講師難、教材及び経費難あげています。 を緩和することが出来た。 講師難、教材及び経費難 6 問題解決の意欲が高まり

野の拡大に役立つた。 知り、青年共通の悩みと視 学習内容が豊富になつた 全国の青年学級の動向を 7 題に対して大きな視野から自分達の生活や、地域の間 なり、放送利用の実行力が った。 何が大切かを考える修練と 反省して人間形成の実が上 番組内容の選択の場合、

8、公民館による青年学級と 教養部門を重視する青年団 養われた。

らぬから、とかく過剰になり 導者も共に真剣に聞かねばな り、又放送者が直接目の前に 空気をかもし出すことにもな 整する結果になつて、学習的 人の閉鎖的な性格を改造する がちな指導者意識を自然に調 青年の発言力がのびて、 (写真 ラジオ利用の学級生) ことに大変役立つのである。 し合いがとても活潑になり、 いないために、開いた後の話 農村

役に立つNHK第二放送

送をしているでしようか。試育年の学習のため、どんな放 みに、六月の番組から拾つて NHKでは、われわれ勤労

十九、二十六 五、十二日 五、十二日

会などおもしろく構成され 十四日は親子の意見、二十は機械をうまく使うには、 村生活」のテーマで、七日三十分間「機械の進歩と農 ています。 専門家の講演、現地の座談 たあんばいに、それぞれ、一日は農村の機械化といつ 日曜の午後八時三十分から

を

ラジオ利用の試み…広くゆたかな教養

毎晩七時三十分から青年の

それこそ大したものになるで 年、三年と続けて勉強したら こうしてこれを半年、一年、一 毎日午後六時四十分から があり、生活のヒントでは 「青少年職業講座」 二十六日 今日からでき 小説の読

くに熱心に聴取した番組で、得したような気がします。と うプライドと、強い友情を体 囲気の中から、働く青年とい

います。 B君の話

についての座談会を記憶して の青年が「これからの結婚」 丸岡秀子先生を囲んで、他県

はじめにきいたのは「農村の気が学級にわいてきました。時、はじめて今までにない活 談会を行つたものです。このジオの共同聴取をし、後で座 台い、女子学級生も入つて、ラ かして成果をあげようと話し私達運営委員会では、何と

5 方 法について 研究グループ運営のし

活改善はこうして 生活改善講座ひらいて

、太陽熱利用法について ・ 家庭娯楽について ・ 家庭娯楽について ・ 家庭娯楽について

ある。

めれば指導者はどこにでも

月二~三回とする。 三月まで、農繁期を除き

本年七月から明年

強

青年研修所に本部

テーマ 七月中旬の予定 2、研究会育成に 1、栄養自給計画 の立て方 ついて

講師及助言者

農業改良普及所、役場、

る。一人一回限りとする り毎回一~二名宛出席す

各部落婦人会長は 見町公民舘に氏名 七月五日までに 部落から一人推せ 時流こ復ます、『『即ち公民館の権威のため、 もち、堂々の主張、正々のねらず、邪悪と闘う勇気を 時流に堕せず、 論陣を張るべしとの鞭撻の

ることによつて両者の運営 がうまく行つた。 の学習活動と表裏一体化す

実践を語る A 君の話

ルに取入れた活動を展開したといつても、ラジオ放送をフといつても、ラジオ放送をフこの一年のわが青年学級のこの一年のわが青年学級の 心にメモをとる情景もしばしに腹ばいになつたりして、熱の質は夜七時三十分から)縁 るような瞳で話し合うこの雰 ものです。仕事着のまま(こ は、学級生の家を交替で提供 ことでしよう。各部落学級で にものを見つめ、考え、燃え ば見られました。みんな真剣 ラジオに耳を傾けた 題であるため、関心をさそうとにしました。このデ をするようになつてから、出司会をつとめ、学級生が司会 たので、先生には助言者にな一方、真剣味も一層増して来 | したものでした。これについ||科学化をはばむもの」を録音 つてもらいい です。続いて放送された とを話し合うようになつたの 層高めることが出来ました。 席者の発言し易い雰囲気を 第になれて来たので、ナマでれからの結婚」は、私共も次 学級生に疑問を持たすように 私共は自分の身のまわりのこ して「村の実態に結びつけて し向けて下さつた。こうして て先生は、話し合いの司 学級生が順番に

(編集後記)

▼ ▽半年にわたつてさわがれた あっても、一応おちつくた。 たおちついた。うらみつら みを捨てて、ゆがんだ世直 しのために、みんなで協力 | ▽ 一人の美挙、万人の協力を 呼び、六十以の地下水を吸 しようではないか。

▽弾丸道路の建設進む。 学は一致した。 縁起ものがたり。道徳と科い上げる。今様弘法清水の

| ▽勉強とは、努力すること、 、 弾丸道路の建設進む。 速か 勉強というものだ。自ら求 ほえようと努力する過程が だ。おぼえることよりもお ポーンもかくあれかし。 の良心、祖国を質くバック 配り、その計画、而してそ その規模、その技術、 つづけること、苦しむこと その

▽舘報「くにみ」二一号をか 最近、編集子のもとに、舘報 進、自己批判の要切なり。 出発して早や一年、管内コ ぞえ、再建の意気に燃えて ンクールに上位入賞の一コ マもあつたが、まだまだ精

仲間から、歓迎され、受けてくる。そしてその集団の

うとする子ども会、大人娯楽や文化財をあたえよ

る。

大人が子どもに対して

が子どもを利用する子ど

소 소

3, 2,

家庭行事のやり方 栄養自給計画の立て方

申

込

研究事項

学識経験者

推進員、その他町内外の 公民館、学校、

参加者

生活改善

医見町生活改善推進員会 主催及び協力者

判断力と協同心とが確立し ると、その遊びが自主的な 年と共にその遊びの人数が

の型がある。

子ども会には、次の四つ

多くなり、満十一才頃にな だちと一しよに遊びたがり 生活をする欲求を生じ、友すでに満二才頃から、集団

山は呼ぶ

/今年の登山は吾妻です 七月下旬の予定 詳細は七月号で